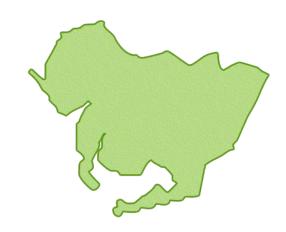
日本看護系大学協議会 研修会 2022年3月27日



都道府県の看護系大学連携を推進する体制づくりに向けて 愛知看護系大学連絡協議会の活動

愛知看護系大学連絡協議会 2020/2021年度 会長 佐原 弘子 (椙山女学園大学)



愛知看護系大学連絡協議会 2004年11月 設立

一宮市 2大学

- 修文大学
- 一宮研伸大学

名古屋市 6(7)大学

- 名古屋大学
- 名古屋市立大学
- 愛知県立大学
- 椙山女学園大学
- 名古屋学芸大学
- 名古屋女子大学
- (金城学院大学)

豊明市 1大学

• 藤田医科大学

大府市 1大学

• 人間環境大学

東海市 1大学

Sugiyo·日本福祉大学

春日井市 1大学 長久手市 1大学 • 中部大学 • 愛知医科大学 豊田市 1大学 • 日本赤十字豊田看護大学 豐根村 豊田伟 設楽町 東栄町 新城市 岡崎市 豊川市 蒲郡市 西尾市 美浜町 豊橋市 南知多田 豊橋市 1大学 • 豊橋創造大学 田原市 愛知県15校(2022年度

2021年度

16校)

設立の経緯

- 2004年夏にJANPUの看護実践能力検討委員会が、「看護学教育の改善・充実に向けて、各大学の独自の取り組みおよび大学間の協力的な取り組みの推進」を目的にブロック別検討会を開催、各県や地域ごとの活動を進めるようにという方針を提示
 - 会議に出席していた愛知県内6大学の教員が話し合い、 県単位での活動を開始する方向で意見がまとまった
 - 研究・教育に関する協議を通して、看護学教育の推進向上に貢献することや親睦を図り、各大学との連携を強めることなどを目的として設立された

愛知看護系大学連絡協議会規約概要

目的

- 本会は、大学における<u>自律性を尊重</u>しながら学術と教育に関する 事項の協議を通して、**看護学教育の推進向上に貢献し、併せて相 互の親睦**を図ることを目的とする。

事業

- 一 看護学教育の推進向上に関する事業
- 相互の連絡・調整に関する事業
- 三 相互の親睦に関する事業
- 四 その他本会の目的達成に必要な事業

構成

- 愛知県所在の看護系大学を会員校として構成する。
 - 各会員校から選出された2名の看護専門教員によって運営する。

愛知看護系大学連絡協議会規約概要

役員

- 会長1名、副会長1名
 - ・ 役員の任期は2年(再任を妨げない)

• 定例会

- 年2回開催するものとし、臨時例会は、会長が必要と認めた時 に開催するものとする。
- 会議は、構成員の過半数が出席しなければ開くことができない。

委員会

特定の事項を検討するために必要があるときは、委員会を置く ことができる。



愛知看護系大学連絡協議会 運営方法

会長

- 会員校において、2年ごとに持回りで会長を務める
- 会長の選出は、会長校となる大学に一任している
- 協議会の目的が、看護教育に貢献するための連携と親睦となっているため、会長を選挙で選ぶなど行っていない

書記

- 各大学で持回りで実施

• 年会費

- なし



愛知看護系大学連絡協議会 主な活動

・ 定例会の開催

- 年2回開催 (90分~120分)
- 場所:会長校の大学で実施(コロナ禍:ZOOM開催)

• 定例会参加者

- 年度ごとに、2名の大学代表者を決定し名簿を作成
- 代表2名が参加する(可能な限り各大学最低1名は参加する)

議題

- 定例会前に、議論したい内容を会長校が取りまとめる
- 開設当初
 - 「地域実習に関すること」、「大学院の単位互換制度」、「災害時の学生ボランティアに関する件」などの委員会を立ち上げ議題とした



愛知看護系大学連絡協議会 主な活動

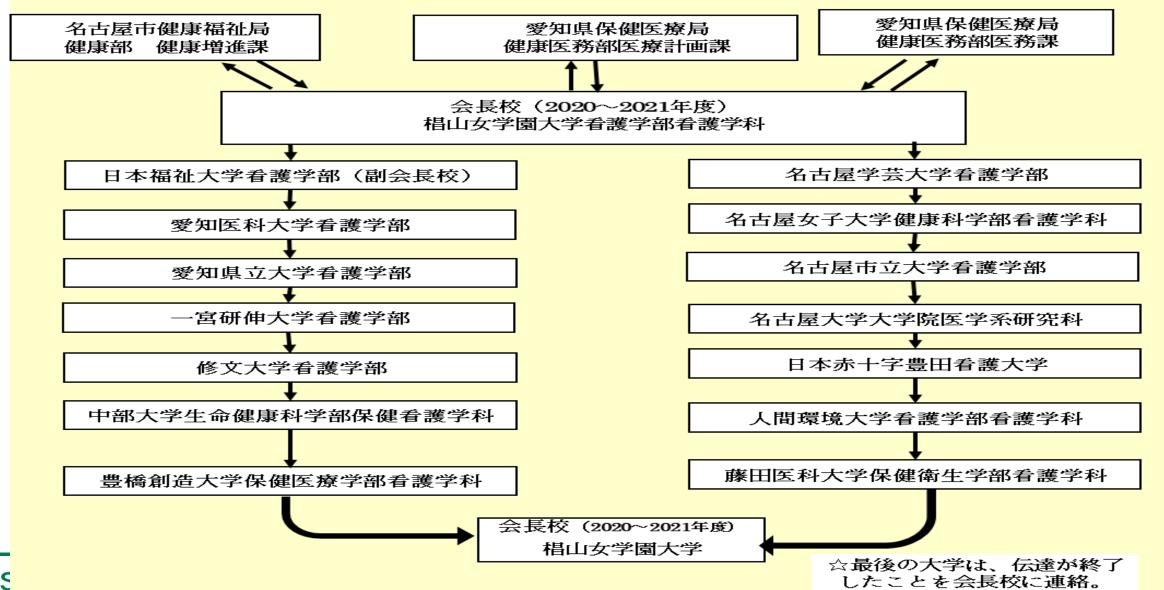
・ 災害時の連携

- 災害に関しては、豪雨災害での学生ボランティアの派遣の状況から、災害時の学生ボランティア派遣に関し、各大学で連携できるように検討された。
 - 学生による災害時支援体制の基本方針の策定
- 東日本大震災など震災が続き、被災大学となった場合の大学間の協力体制 など検討
 - 基本方針はないが、各大学の被災状況を集約し、被災大学の学生が教育・研究 において不利益とならないように、大学間で施設の利用が可能かどうかなど対 応することが話し合われた。
 - 会長校が各大学の震災状況の情報集約をする連絡網の作成
 - 愛知県・名古屋市行政との情報共有体制の確立
 - ①名古屋市健康福祉局健康部健康增進課、②愛知県保健医療局健康医務部医療計画課、
 - ③愛知県保健医療局健康医務部医務課

愛知看護系大学連絡協議会 災害時情報連絡体制

(2021年4月1日現在)

☆連絡を受けられた事務の方は、下記の該当教員に、ご連絡をお願いいたします。



愛知看護系大学連絡協議会のメリット

- 教育上問題となっている事柄について、各大学の対応状況がわかり、 対応の参考になっている
 - 個人情報保護法が公布された時には、実習記録の取り扱いや、SNSに関することなど情報共有ができた。
 - コロナ禍においても、遠隔授業や実習の工夫、学生への心理的なサポートをどうしているかなど、様々な大学の状況を情報共有でき、対応に役立てることができた。

・ 災害時の連絡体制がある

- 災害時に行政との情報共有を行うための窓口がはっきりしている。
- 被災の情報を集約することができ、被災大学への支援について早期から検討可能となる。
- 被災状況を会長校に伝えることで、被災大学が孤立しない。

-・ 各大学教員同士の交流となる

愛知看護系大学連絡協議会のデメリット

特にはない





愛知看護系大学連絡協議会の課題

- 愛知県も大学が増え、設立当初のように、大学間の状況を アンオフィシャルな形で、話し合うことが難しくなってき ており、協議会の在り方を検討する時期となってきている。
- 現状では、愛知看護系大学連絡協議会として、日本(愛知県)看護協会や県などへ交渉を行っていないが、コロナ禍を契機に、協議会として意見を発信していく必要性が議論されている。



ご清聴ありがとうございました

